

令和3年第2回定例会 報告!

令和3年第2回定例会は6月7日から6月22日までの16日間の会期で開かれました。区議会公明党からは代表質問で所 隆宏議員、一般質問で関根麻美子議員の2名が登壇致しました。主な質疑応答は以下の通りです。

Q 新型コロナウイルス感染症対策について

- ① 65歳以上の方へのワクチン接種について
- ② 65歳未満の方へのワクチン接種について
- ③ 感染リスクの高い職場へのPCR検査の継続的な実施について
- ④ 高齢者や障がい者の通所施設等利用者のPCR検査費用の助成について



- A**
- ① ワクチンの入荷状況に合わせて予約枠を拡大してきた。訪問・巡回の検討や予約支援の充実により、希望者全員が接種できる体制を組んでいきたい。
 - ② 65歳未満の方の接種については、年代ごとに予約枠を順次拡大していきたいと考えており、12歳から15歳までの接種は、医師会の協力の下、個別医療機関で行ってきたい。
 - ③ 高齢者・障害者施設での検査は延長する予定であり、保育園・幼稚園については、検査できる環境があるという事を案内していく。
 - ④ 区としても助成することを検討していく。

Q コロナ禍における区内産業の活性化のための新たな取り組みについて

- ① 「キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン」を活用した商店街支援の方法について
- ② 区内商店のキャッシュレス化を推進すべき
- ③ 区内産業の継続支援と活性化について



- A**
- ① 区内共通商品券まつりとは時期をずらして行い、計2か月の両施策によって区内商店街の活性化を図っていく。
 - ② 説明会等を通じて商店への導入を促し、商店街の活性化に繋げていきたい。
 - ③ 新型コロナ緊急対策融資制度の拡充等の支援を行い、実態調査の分析を基に、将来につながるような施策・ビジョンを作成していく。



Q 「江戸川区食品ロス削減推進計画」について

- A**
- SDGsや「食品ロス削減推進法」の施行により機運が高まる中で、更なる推進のために計画を策定した。単独としては23区初である。削減目標達成に向け、「食品ロス削減推進会議」を開催し、本区独自の取り組みを効果的に進めていきたい。



実現! Q 新型コロナウイルスワクチン接種済証、「ワクチンパスポート」の発行について



- A**
- 「今後の国の動向を見て対応していく。」との答弁の後、江戸川区は7月26日から申請受付を開始しました。

Q 気候変動への取り組みについて

- ① 区民が自分事として捉えられる、より分かりやすい施策を打つべき
- ② 2050年温室効果ガス排出ゼロを視野に入れた計画の策定について

- A**
- ① 区民一人ひとりが気候変動を理解し、自分事として捉えて行動できるよう、しっかり情報発信を行っていく。
 - ② 第2次エコタウンエドがわ推進計画の改定に向け議論を重ね、数値目標を設定していきたい。

Q 熟年者のデジタル活用支援の推進を

- A**
- 通信会社とも連携し、なごみの家・熟年相談室・くすのきクラブ等様々な場面で熟年者のデジタルスキルの向上を図っていく。



Q 「多様性に対応する学校」の実現のために、不登校や病児生徒等に対する遠隔・オンライン教育を全校で実施すべき

- A**
- 有効な方法の1つであると認識している。既に効果的な活用を行っている学校があるため、その共有を図り、有効活用に向けていく。

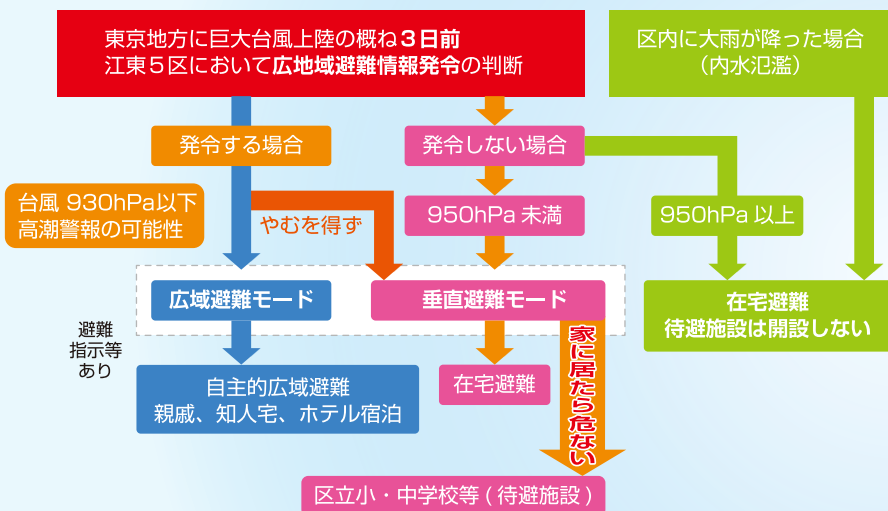


江戸川区の大規模水害対策



本年もこれから台風シーズンを迎えることから、江戸川区の大規模水害対策についてまとめました。区議会公明党は公的な避難先の確保や最後の身を守る手段である垂直避難についても要望を重ねています。

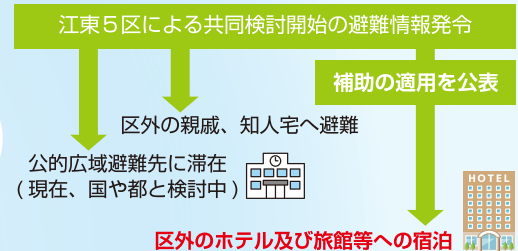
江戸川区の大規模水害時の避難に対する考え方



広域避難に伴う補助金について



宿泊費用補助で広域避難を促進



実現! 今年度から広域避難情報発令時、江戸川区では広域避難のために宿泊施設を利用した区民の方に対して、一人あたり1泊一律3,000円、3泊までを限度(最大9,000円)とする補助金の申請をすることができます。

宿泊先(ホテル等)選択のポイントは?

- 江東5区の中はなるべく避ける(江戸川区内は対象外)
- JR総武線御茶ノ水以西は台地であり浸水リスクは低い
- 山間部のホテルは土砂災害のリスクに考慮が必要



宿泊先(ホテル等)選択の一助に(江戸川区との協定締結団体)

- 株式会社近畿日本ツーリスト
- 日本旅館協会東京都支部
- 東京都ホテル旅館生活衛生同業組合
- 一般社団法人全日本ホテル連盟

避難先の確保は?自主的広域避難とは?

江戸川区では自主的広域避難を推奨しています。まずは、事前に浸水しない区外の親戚・知人宅など各自で避難先を確保することが重要です。それが難しい方については、自身でホテル等の予約を行い、宿泊することも有効です。公的な広域避難先については、国と東京都で「首都圏における大規模水害広域避難検討会」を設置し検討中です。